

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東住吉区
学校名	大阪市立鷹合小学校
学校長名	小松 敏章

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立鷹合小学校では、第6学年 75名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率では、国語と理科において全国、大阪市の結果を下回っている。国語では全国より3.8ポイント、大阪市より2.0ポイント下回っている。理科では全国より3.1ポイント、大阪市より1.0ポイント下回っている。一方、算数では全国、大阪市の結果を共に2.0上回っている。

平均無回答率で見ると、どの教科においても、全国、大阪市を上回っており、特に算数では、全国より1.2ポイント、大阪市より1.5ポイント上回っている。理科においても、全国より1.5ポイント、大阪市より1.3ポイント上回っており、平均無回答率は高めの結果となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

国語では、「情報の扱い方に関する事項」が他の領域に比べて苦手であることがうかがえる。具体的には、情報と情報との関係付けの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができていなかった。

算数では、「図形」領域の正答率が全国、大阪市と比べて約8.0ポイント高くなっている。特に平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図する問題の正答率が高かった。

理科では、電気の回路や電流のはたらきに関する「エネルギー」を柱とする領域が、他の領域より正答率が高くなっている。逆に「粒子」を柱とする領域では、温度によって姿を変える水の性質についての理解が十分ではなかった。

質問調査より

「学校へ行くのは楽しい」「自分にはよいところがある」の項目では、肯定的な回答が全国、大阪市を共に上回っている。「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだ」については、全員が肯定的な回答であり、否定的な回答は一人もいなかった。

「国語の学習が好き」と肯定的に回答している児童は全国、大阪市を上回っている反面、「算数の学習が好き」と肯定的な回答をしている児童は全国、大阪市を下回った。授業以外の学習をしている時間については、「全くしない」と回答した児童は、大阪市を下回っているものの、全国より倍近く多くなっている。

今後の取組(アクションプラン)

家庭学習については、学校での呼びかけはもちろんであるが、家庭との連携が必要不可欠である。家庭との連携を図っていくとともに、家庭での学習課題についても工夫していく。

昨年度に続き「ブロック化による学校支援事業」を利用し、5年生で漢字検定を実施する。児童が意欲的に取り組めるようにとともに、今年度は1～3年生で「コグトレオオンライン」にも取り組んでいる。ICTの更なる活用を図るとともに認知機能をトレーニングし、学習の基礎となる力を身につけさせたい。

【 全体の概要 】

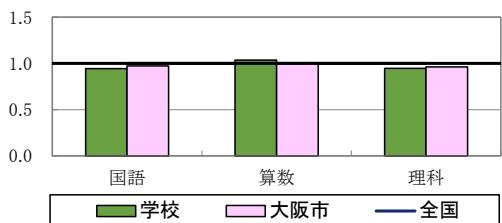
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	63	60	54
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

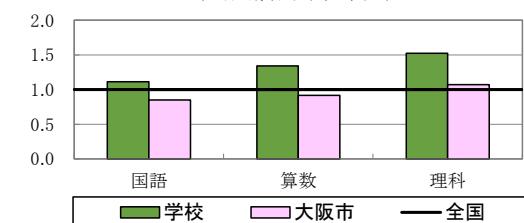
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.7	4.8	4.3
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



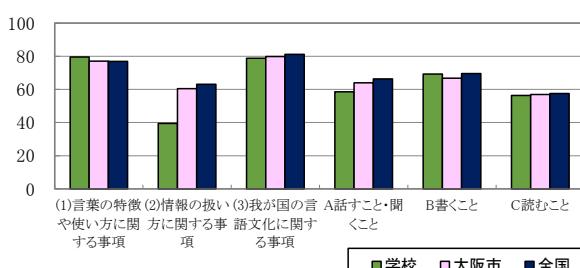
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	79.5	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	39.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	78.8	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	58.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	69.2	66.7	69.5
C 読むこと	4	56.4	56.9	57.5

【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.8	62.7	62.3
B 図形	4	64.4	56.4	56.2
C 測定	2	51.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.6	58.2	57.5
D データの活用	5	61.8	61.9	62.6

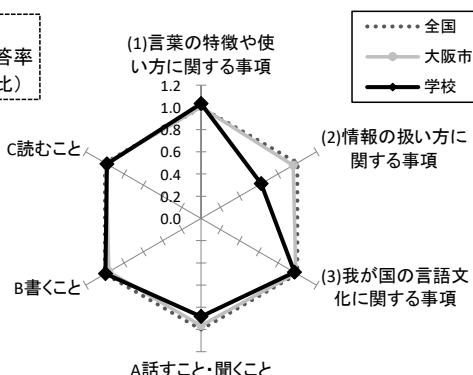
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



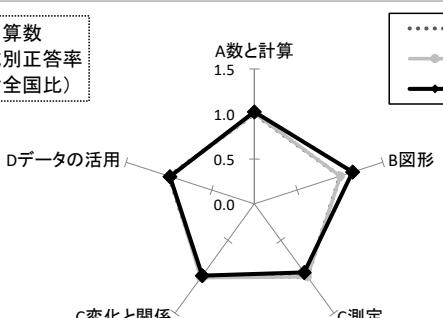
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

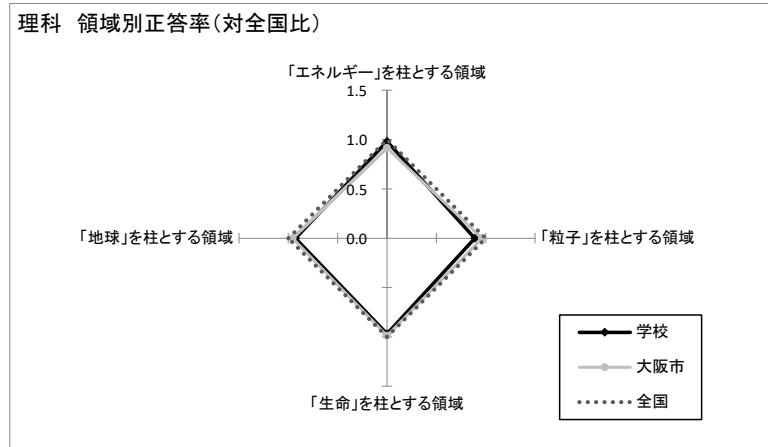
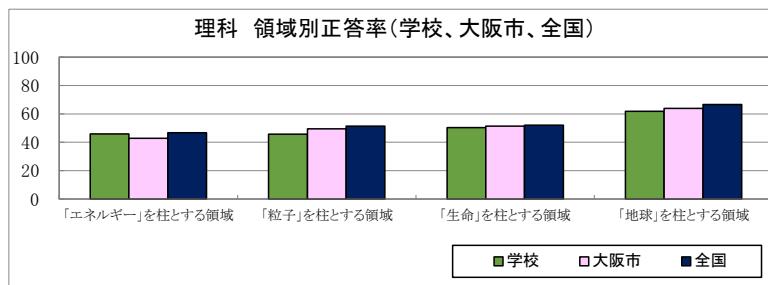


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	45.8	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	45.7	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	50.4	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	61.9	63.8



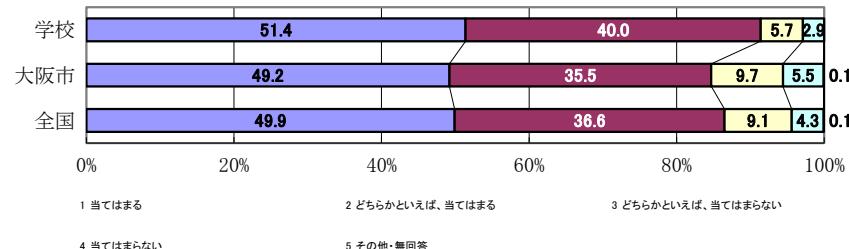
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

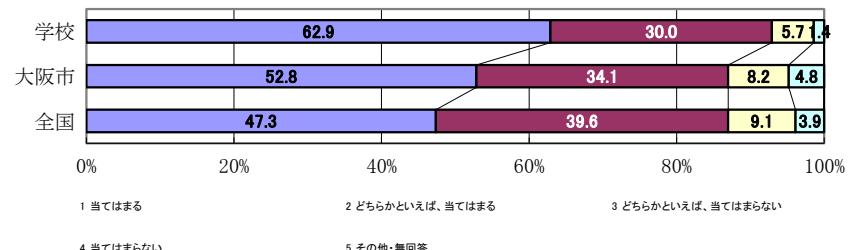
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



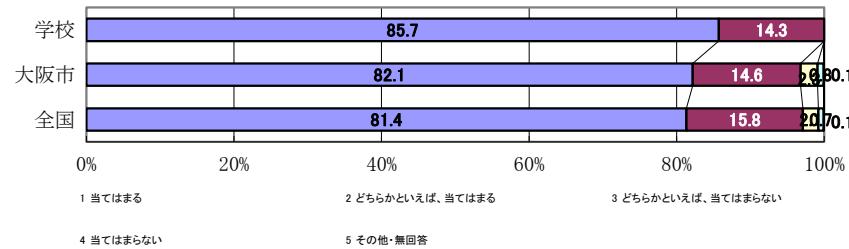
5

自分には、よいところがあると思いますか



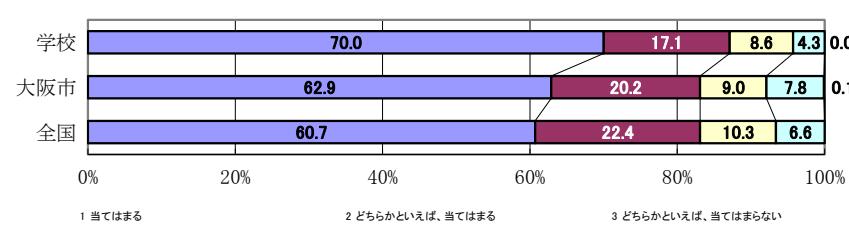
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



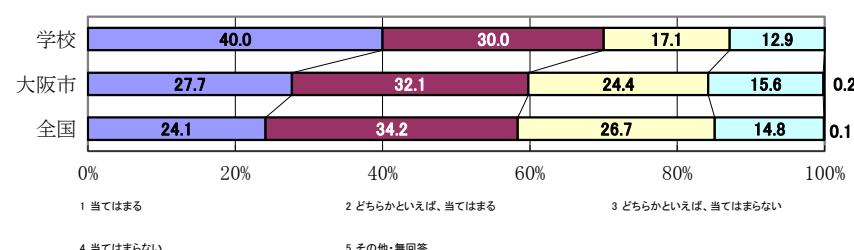
7

将来の夢や目標を持っていますか



45

国語の勉強は好きですか



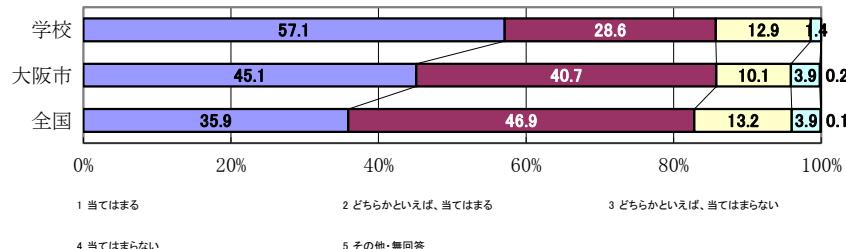
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

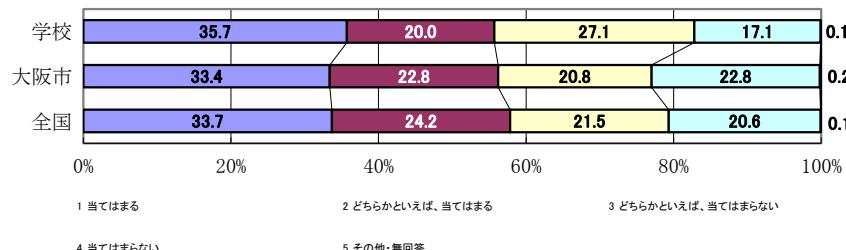
46

国語の授業の内容はよく分かれますか



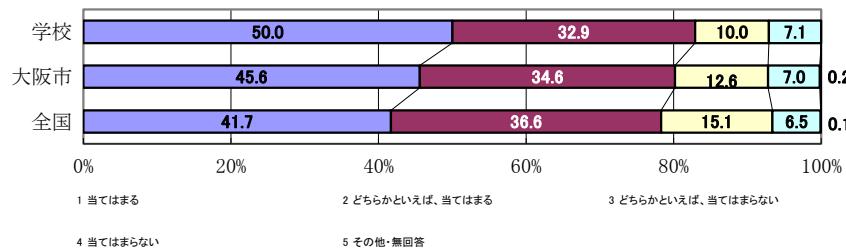
53

算数の勉強は好きですか



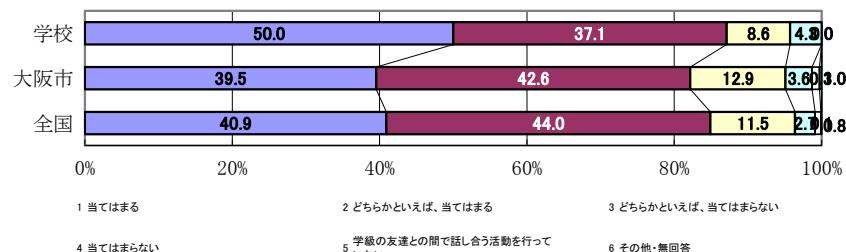
54

算数の授業の内容はよく分かれますか



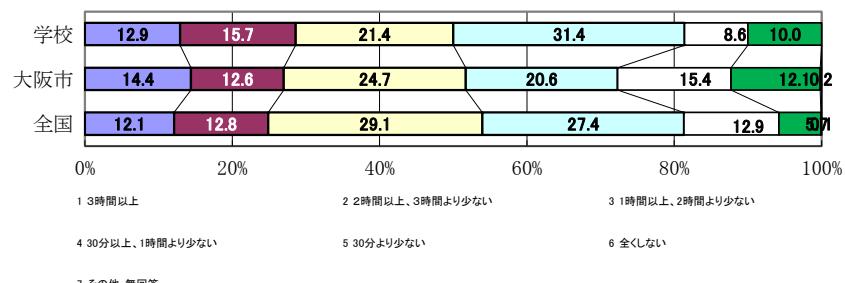
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



学校質問より

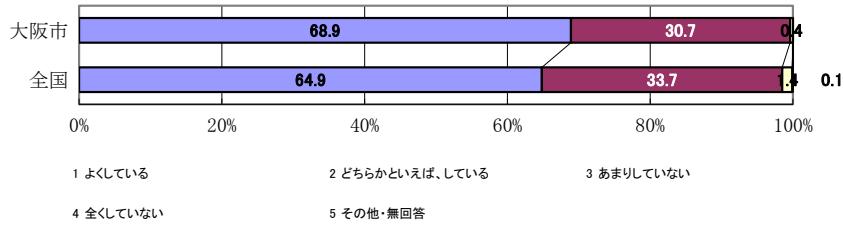
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

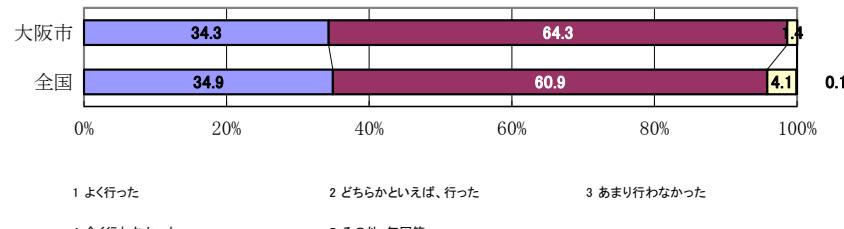
学校 「よくしている」を選択



43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

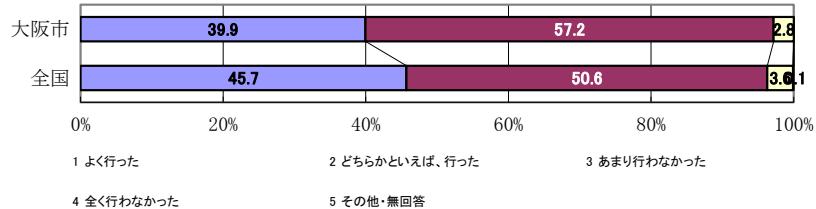
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

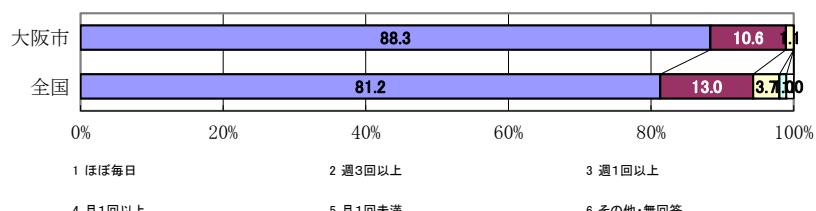
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)」を選択

